

## 第2学年 道徳科指導展開例

### 1 主題名

世界の平和と人類の発展への貢献

### 2 内容項目

C－国際理解、国際貢献（関連項目 D－生命の尊さ）

### 3 教材名

垣根をこえて「六千人の命のビザ」

### 4 ねらい（視点）

#### ・価値観

世界の平和と人類の発展に貢献するという理想を抱き、その理想の実現に努めることが大切である。その理想の実現のための基本になるのは、国によってももの感じ方や考え方、生活習慣などが違っても、どの国の人々も同じ人間として尊重し合い、差別や偏見をもたずに公正、公平に接するということであり、このことは、日本人だけに求められるものではない道徳的価値である。

#### ・生徒観

近年、スマートフォンやタブレットの普及とともにテレビ離れも進んでおり、情報量はとても多いが自分が欲した情報以外は入ってこない。札幌市内の中学生も同様であり、外国の情報は受動的に入ってくることは少ない。国際化が進み外国人とふれあう機会が増えているが、国際情勢やその歴史的背景に関してはもっている情報は少ない生徒が多い。特に第二次世界大戦時のヨーロッパの状況は現時点では未習分野であることに留意が必要である。

#### ・教材観

第二次大戦中、日本の外務省の意向に逆らい、ナチスに迫害されたユダヤの人々のためにビザを発行した外交官の杉原氏。外務省とユダヤの人々の狭間で葛藤し、最後には辞職を覚悟で自分の権限でビザを発行し、命をつないだ杉原氏の行動は、ユダヤの人々だけでなく世界中で語り継がれている。ユダヤ人が不当な差別により国を追われようとしている背景と、ビザ発給が当時の政界情勢を鑑み外交官として自国民の生命を危険に晒すかもしれない行為であることを理解し、その狭間で揺れ動く杉原千畝の葛藤や行動を想像することで、世界平和のために正しい行動をするためには何が大切なのかを考えることができる教材である。

### 5 本時の展開

#### 【本時の留意点】

『Plus 外交官、杉原千畝と六千人の命のビザ』を利用して、当時のユダヤ人をめぐる国際情勢を理解する。その上で、「なぜ杉原は苦悩したのか」を考えることを通して、ねらいに迫っていく。またこの教材は、安易に生命尊重に流れ、議論が深まらない可能性がある。この点について、今回は国際理解、国際貢献の観点から考えることを指導者が常に意識しながら授業を展開していく必要がある。

	発問と児童生徒の活動	評価・留意点
導入	<p>教科書 Plus のページで、第二次世界大戦頃の国際情勢や、ナチスによるユダヤ人迫害について確認する。</p> <p>①ユダヤ人が、ナチスドイツから逃れようとしたのは、なぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトラーによって迫害を受けたから。</li> <li>・ナチスに見つかると強制収容所に送られて、殺されてしまうから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業開始時に、本時の内容項目を確認し、板書しておく。</li> <li>・ 社会の授業では未修である。</li> <li>・ 時間をかけすぎないようにする。</li> </ul>
展開	<p>※教師が範読する。</p> <p>②杉原さんが幾日も悩んだのはどのようなことだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外交官なのだから、自分の判断で行動してはいけないのではないか。</li> <li>・ 家族の安全を考えれば、命令に従ったほうがいい。</li> <li>・ 命令に従うとユダヤの人々を救うことができない。</li> <li>・ ビザを発行することができるのは自分しかない。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>③杉原さんの苦悩の末の行動には、人々に対するどのような思いがこめられていたのだろうか。【中心発問】</p> </div> <p>●自分で考えたことをワークシートに記入し、小グループ（3～4人）で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の将来が犠牲になるのは覚悟している。</li> <li>・ 権限を超えたかもしれないが、命には代えられない。</li> <li>・ 同じ人間なのだから助けたい。</li> <li>・ 目の前に救える命があるなら助けるべきである。</li> <li>・ 多くの人を助けたい。</li> <li>・ 日本の人々でもユダヤの人々でも同じである。</li> </ul> <p>④世界の平和に貢献するために、私たちができることはなんだろうか。</p> <p>●数名の意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な地域・国の文化・宗教の違いを知る。</li> <li>・ 歴史を学び、戦争の背景を知る。</li> <li>・ 今の自分の日常生活と、世界とのつながりを考える。</li> <li>・ 日本人であっても、他の国の人であっても差別をしない。</li> <li>・ 同じ人間だという視点で考えることが大事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒は「生命の尊さ」について考えることが予想される。</li> <li>・ ここでは、無理やり、本時の内容項目である「国際理解、国際貢献」に生徒の意識をもっていくとはしない。</li> <li>・ 生徒から「国際理解、国際貢献」の視点をもてるようにする。</li> <li>・ 「国際理解、国際貢献」の視点からの意見が出たところで、予め板書してあった、本日の内容項目を確認する。</li> <li>・ 最後まで意見が出ない場合、「日本がナチスドイツに迫害されていたユダヤ人を助けることので、友好関係にあったドイツと日本の関係が悪化し、日本人の命が危険になる。」可能性を示唆する。</li> </ul>
終末	<p>●授業をとおして考えたことを書く。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>☆いろいろな視点から世界の平和について考える。  ☆よりよい世界をつくるために、国際的視野に立ち、世界の中の日本人として貢献しようという自覚を深める。</p> </div>	

道徳ワークシート

( 年 月 日)

	名前	年 組 番
①		
②		
③		
④		
—☆授業を受けて、思ったことや考えたことを書いてみよう☆— —		

道徳ワークシート

( 年 月 日)

	名前	年 組 番
①		
②		
③		
④		
—☆授業を受けて、思ったことや考えたことを書いてみよう☆— —		